

---

2022年9月1日開催  
R & D Head Club開催Webinar  
「なぜ、いまベンチマークコスト算定の導入が必要なのか」  
事後アンケート結果

R & D Head Club  
Build Efficient Clinical Trial Environment  
Working Group 1  
2023年6月9日作成

# 本資料の概要

R&D Head Club Webinar企画

## なぜ、いまベンチマーク型コスト算定の導入が必要なのか

開催日時:2022年9月1日(木)

### 情報共有パート

#### Agenda

- ・ ベンチマーク型コスト算定(BC)導入の背景
- ・ BCとFair Market Value(FMV)を正しく理解しよう!
- ・ BC導入でどう変わる?
- ・ 今後の見通し

左記の日程で開催したWebinarの後に実施したアンケート結果

事前参加登録: 918名



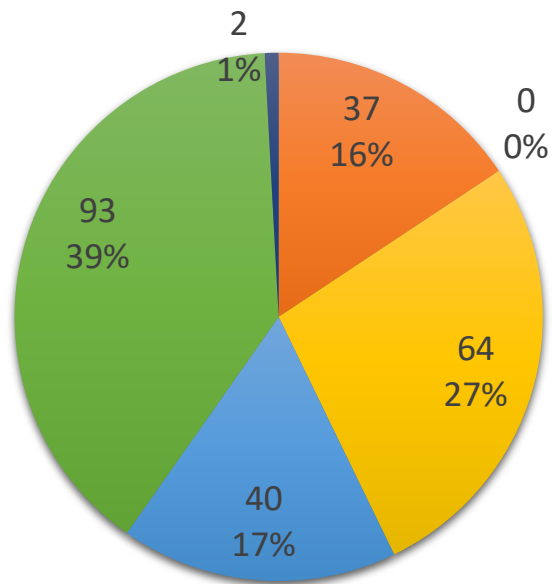
当日参加者: 632名  
(うちディスカッションパート: 39名)



アンケート回答者: 236名  
(回答率 37.3%)

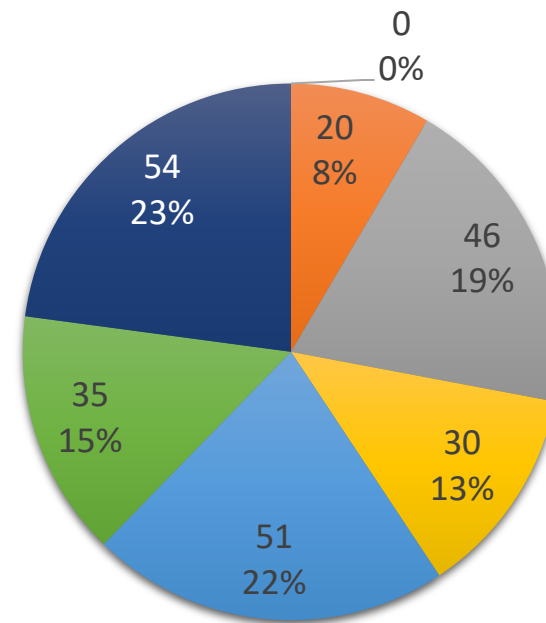
# 事後アンケート 1/4

ご所属



- 病院
- クリニック
- SMO
- CRO
- 製薬企業
- その他 (BCベンダーなど)

業務内容・役割



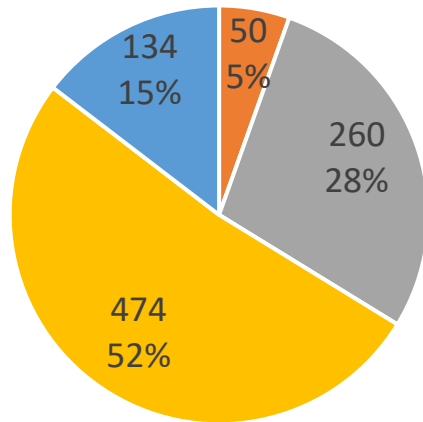
- 治験責任医師・分担医師
- 治験コーディネーター
- 治験事務局
- CRA
- スタディマネージャー
- 予算管理
- その他 (SMO営業担当者、治験依頼者管理職、SMO経営、教育担当者など)

# 事後アンケート 2/4

## 事前アンケート※

N=918

ベンチマーク型コスト算定  
に関する理解度

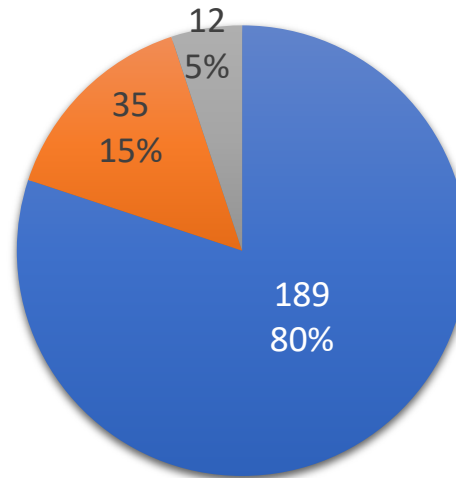


- 実際に担当試験で算定した
- 内容を理解している
- 聞いたことがある
- 初めて聞いた

## Webinar 参加後

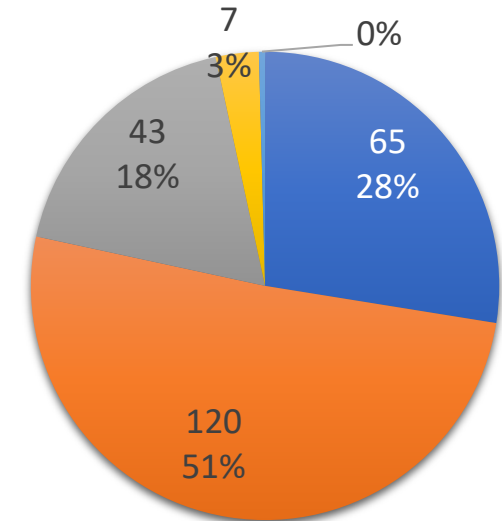
N=236

理解度



- さらに理解が深まった
- 聴講前と変化なし
- 十分理解が深まったとは言えない

総合的な満足度



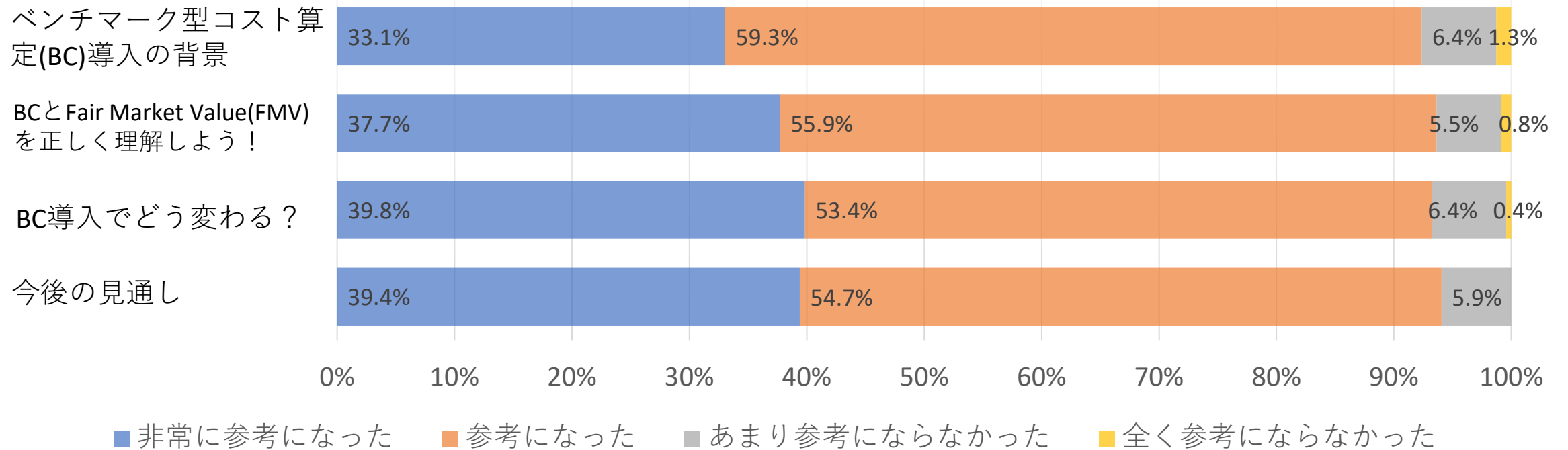
- 非常に満足
- 満足
- 普通
- 非常に不満足
- 不満足

※ 事前参加登録時に実施したアンケート  
事前アンケートの回答者は事後アンケートの回答者と一致しない

# 事後アンケート 3/4

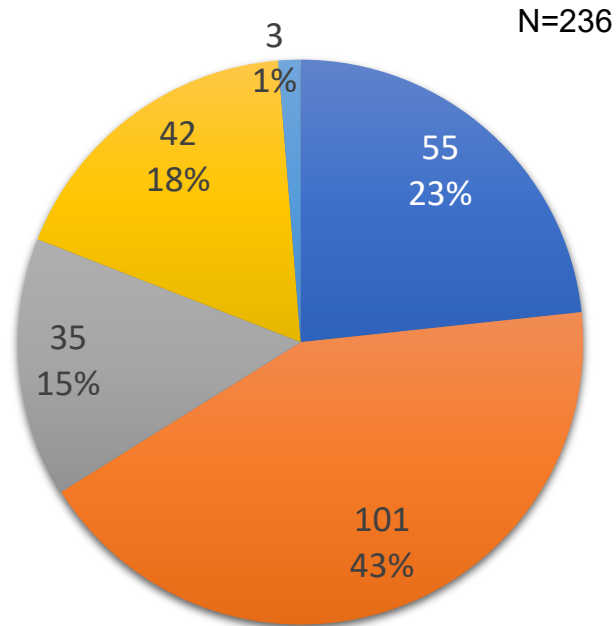
N=236

## 各AGENDAの参考度



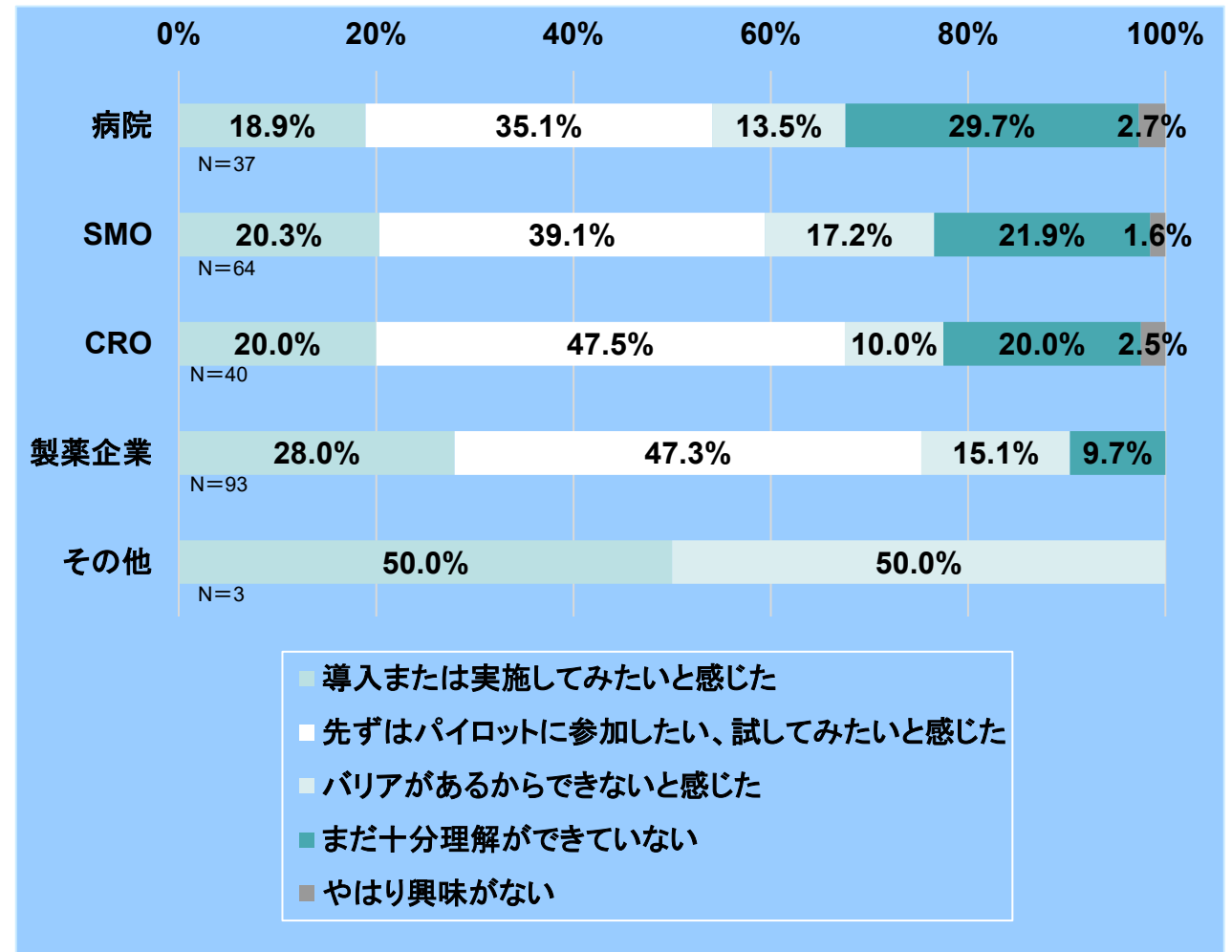
# 事後アンケート 4/4

今後の導入について



- 導入または実施してみたいと感じた
- まずはパイロットに参加したい、試してみたいと感じた
- バリアがあるからできないと感じた
- まだ十分理解ができていない
- やはり興味がない

組織別内訳



- 導入または実施してみたいと感じた
- まずはパイロットに参加したい、試してみたいと感じた
- バリアがあるからできないと感じた
- まだ十分理解ができていない
- やはり興味がない

# まとめ

- 参加登録者の7割弱がベンチマーク型コスト算定を「初めて聞いた」「聞いたことがある」という方であった。
- Webinarへ参加することで8割がベンチマーク型コスト算定について「さらに理解が深まった」と回答した。
- Webinar参加後に全体の66%が所属組織でベンチマーク型コスト算定を「導入または実施してみたいと感じた」「まずはパイロットに参加したい、試してみたいと感じた」と回答した。また、組織別では医療機関、SMO、CRO、治験依頼者のいずれにおいても50%以上が「導入または実施してみたいと感じた」「まずはパイロットに参加したい、試してみたいと感じた」と回答した。CRO、治験依頼者において前向きな回答の割合が高い傾向であった。
- 一方で全体の34%は「バリアがあるからできないと感じた」「まだ十分理解ができていない」「やはり興味がない」と回答した。
- 実装に向けて更なる認知度向上、理解促進が必要であると共に、より多くの医療機関、SMO、CRO、治験依頼者がパイロット導入することが期待される。